

インスリンは熱に弱い 夏場の保管方法

インスリン製剤やビクターザの
保管場所として良いのは、
温度変化の少ない涼しい場所

夏の旅行など炎天下で長時間持ち歩く時は、保冷バックを活用しましょう。冷蔵庫で冷やした保冷剤を、インスリン製剤に直接ふれないようにタオルで包み、一緒に保冷バックに入れます。保冷剤の用意がない場合は、冷やした飲み物のペットボトルを製剤と一緒にバッグに入れても良いでしょう。

インスリンが凍結すると、品質が変わってしまったり、カートリッジが破損することがあるので、冷蔵庫の冷凍室には入れないで下さい。夏場に冷蔵庫を「強冷」に設定すると、冷気の吹き出し口の気温が下がるので注意が必要です。

